

19 年度水質汚濁物質排出量総合調査結果



環境省は平成 19 年度水質汚濁物質排出量総合調査の結果概要をまとめ、平成 20 年 3 月 27 日付で発表しました。本調査は、以下、4 項目において平成 19 年 10 月 1 日～10 月 31 日までの間で調査が行われました。今回、回答を寄せたのは 30,430 事業場(回収率:79.6%)になります。

- ① 従業員数、出荷額等の事業規模、稼動状況、産業分類等の工場・事業場概要
- ② 用排水量の実績
- ③ 生活環境項目の排水濃度
- ④ 有害物質の使用・製造状況と排水濃度

調査の対象事業場数は、総数で 38,209 件あり、排水量・有害物質区分別の内訳では、「排水量 50m³/日以上で有害物質使用特定事業場でない」ものが 26,208 件、「排水量 50m³/日以上で有害物質使用特定事業場であるもの」が 5,273 件、「排水量 50m³/日未満で有害物質使用特定事業場であるもの」が 6,728 件となります。

本調査は、水質汚濁を効果的に防止する為、水質汚濁防止法の規制対象事業場における水質汚濁物質の排出量等の動向を把握して、排水基準の設定及び見直しに役立てるための基礎的資料とすることを目的としています。

当社では排水分析に長年の実績があります。排水分析に関して何かご不明な点がございましたらお気軽にお問い合わせ下さい。

資料 2008 年 3 月 27 日付 環境省 報道発表資料
2008 年 3 月 28 日付 EIC ネット

水質分析箇所 江上泰邦